

□ 書 評 □

「Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography」=英文版

〔編集〕

竹 本 忠 良 山口大学教授

春日井 達 造 愛知県がんセンター病院副院長

旭川医科大学教授

並 木 正 義

先に竹本、春日井両氏の編集になる「膵・胆道の内視鏡検査」という本が出版された。この本は文字どおり膵・胆道の内視鏡に関する一切が網羅されているだけでなく、膵・胆道疾患の病態を理解し、これを診断する上に参考となるすべての事項が要領よくまとめられており、一般の内科学各論の成書よりも、もっと実のあるものとして高く評価してきた。ところが続いて今回、その英語版ともいうべき書が世に出された。これをよくみてまず感じたことは、内容の立派な日本語の本を英文にすると、さらに一層輝きを増すものだという不思議な事実である。

英文で本を出すということはいろいろな意味をもつ。第1にすぐれた研究は、やはり英文にして世界に示し、その評価を問うことは意義のあることだし、本書は実際にそうする

に足る堂々とした内容の本である。第2に若い医師達が医学英語を勉強する上に非常に役だつ本だといえる。最近学会抄録や雑誌投稿などでちょっとした英文を書かされることが多くなってきた。これは簡単なようで、書きつけていないと、意外と億劫なものである。ところが本書はそのようなとき大変参考になるといって、現に若い教室員の何人もが日本語版と英語版の両方を手にして、英語の勉強をかねながらこの本を利用している。こうなると分担執筆者の英文は責任が重い。しかし、そこはさすが各執筆者とも英語に強く、その英文はしっかりしている。それになんといっても自らの深い経験に基づいて書いているだけに、実にわかりやすく、その表現力もすぐれている。

日本人の英語を、決してほめよう

としない意地悪い英語担当の外人教師に本書をみせて、その感想を聞いたところ、“よくわかる英語だ”と言った。よくわかるという表現は、どんなほめ言葉よりも、価値あるものだと思う。

緻密な企画に基づく充実した内容、がっちりした文献の吟味、分担執筆とは思えぬ統一性と英文についての細かい配慮、さらに英文の本としては手頃というよりもむしろ驚くほど安い価格など、多くの点において編集者の並々ならぬ苦勞のあとがしのばれる。心から敬意を表したい。

この本はまさに時代の要望にこたえた必見の名著といえよう。特に消化器病の勉強をめざす若い医師は、是非とも手元において大いに活用していただきたい本である。

B 5 頁338 図56 写真213 原色図72
表59 1979 ¥12,000 ¥300 医学書院刊